

# 株式会社SBI証券

## 決算説明資料

～ 2019年3月期 通期 ～

---

2019年4月26日

本資料に掲載されている事項は、当社のご案内の他、事業戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する株式その他の有価証券への投資の勧誘を目的としたものではありません。なお、当社は本資料に含まれた情報の完全性及び事業戦略など将来にかかる部分については保証するものではありません。また、本資料の内容は予告なく変更または廃止される場合がありますので、予めご承知おきください。

<決算概況>

## 2019年3月期 通期業績

ホールセールビジネスの拡大、トレーディング収益の増加により前年同期比で増収増益を達成。「営業収益」、「純営業収益」、「営業利益」、「経常利益」、「親会社株主に帰属する当期純利益」の全てにおいて過去最高を記録。

(単位:百万円、%)

	2018年3月期 通期 連結 (2017年4月～2018年3月)	2019年3月期 通期 連結 (2018年4月～2019年3月)	前年同期比 増減率
営業収益	116,716	<b>122,537</b>	+ 5.0
純営業収益	106,997	<b>114,402</b>	+ 6.9
営業利益	53,570	<b>55,349</b>	+ 3.3
経常利益	53,798	<b>55,404</b>	+ 3.0
親会社株主に帰属 する当期純利益	36,812	<b>37,865</b>	+ 2.9

＜決算概況＞

## 主要インターネット証券の2019年3月期 通期業績比較

(単位:百万円、%)

会社	SBI (連結)		楽天(※1) (連結)		マネックスG(※2) (IFRS)		松井 (非連結)		カブドットコム (非連結)	
	項目	前年度比 増減率	前年度比 増減率	前年度比 増減率	前年度比 増減率	前年度比 増減率	前年度比 増減率	前年度比 増減率		
営業収益	122,537	+ 5.0	59,492	+ 6.5	52,175	▲ 2.7	27,313	▲ 15.2	21,202	▲ 13.4
営業利益	55,349	+ 3.3	18,810	▲ 8.9	2,727	▲ 70.7	13,451	▲ 27.4	5,881	▲ 25.9
経常利益	55,404	+ 3.0	18,007	▲ 10.3	1,790	▲ 79.3	13,592	▲ 27.1	5,936	▲ 25.5
親会社株主に 帰属する 当期純利益	37,865	+ 2.9	12,066	▲ 7.9	1,181	▲ 82.5	9,562	▲ 25.9	4,295	▲ 32.2

出所:各社WEBサイトの公表資料より当社にて集計

※1 2018年度より12月決算に変更しており、上記は2018年12月期と2019年12月期 第1四半期の合計数値を記載

※2 営業利益は「営業利益相当額」、経常利益については「税引前四半期利益」を記載

主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、カブドットコム証券

&lt;決算概況&gt;

## 四半期毎の業績推移

(単位:百万円、%)

項目	2018年3月期				2019年3月期				前四半期比 増減率
	第1四半期 (17年4~6月)	第2四半期 (17年7~9月)	第3四半期 (17年10~12月)	第4四半期 (18年1~3月)	第1四半期 (18年4~6月)	第2四半期 (18年7~9月)	第3四半期 (18年10~12月)	第4四半期 (19年1~3月)	
営業収益	25,358	27,522	31,388	32,446	30,544	29,849	33,264	28,878	▲ 13.2
純営業収益	23,327	24,870	28,563	30,235	28,908	27,827	31,106	26,559	▲ 14.6
営業利益	10,631	12,318	14,758	15,862	14,420	13,522	14,904	12,502	▲ 16.1
経常利益	10,665	12,308	14,762	16,061	14,388	13,497	14,959	12,559	▲ 16.0
親会社株主に 帰属する 当期純利益	7,606	8,363	10,152	10,690	9,926	9,297	10,120	8,521	▲ 15.8

## &lt;決算概況&gt;

## 2019年3月期 通期決算のポイント

## 1. 委託手数料収入・・・前年同期比11.4%減の30,599百万円

- ▶委託売買代金は前年同期比10.8%減の99兆2,497億円(うち、信用取引は68兆4,474億円)。手数料率は前年同期比0.06ポイント減の2.89ベース。
- ▶個人委託売買代金における当期の当社シェアは36.2%。

## 2. 金融収益・・・前年同期比5.7%減の42,182百万円

- ▶金融収支は前年同期比4.3%減の36,507百万円。

## 3. 引受・募集・売出手数料・・・前年同期比62.4%増の8,849百万円

- ▶投資信託残高は四半期末で1兆8,741億円。
- ▶2018年4月から2019年3月までの新規上場社数95社のうち当社引受社数は90社。(引受関与率94.7%)

## 4. トレーディング損益・その他収入・・・前年同期比27.7%増の40,906百万円

- ▶トレーディング損益は前年同期比43.6%増の27,667百万円。

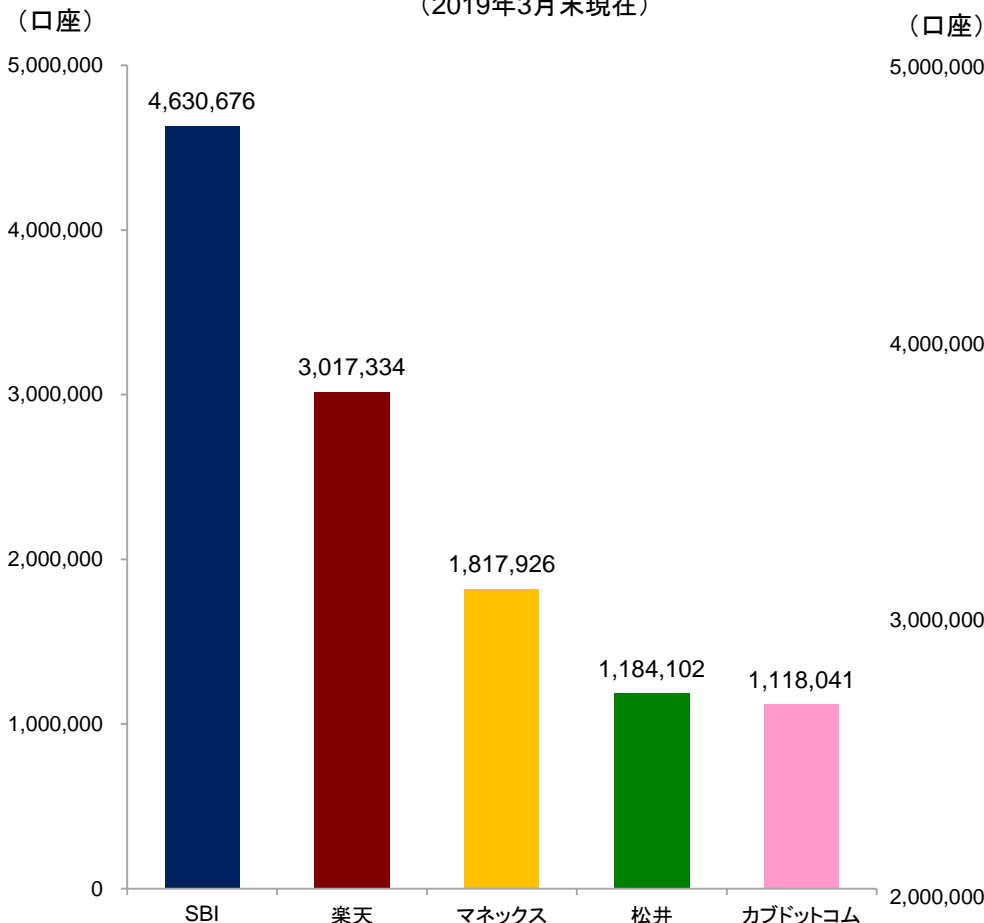
## 5. 販売費・一般管理費・・・前年同期比10.5%増の59,052百万円

<決算概況>

主要インターネット証券の口座数比較

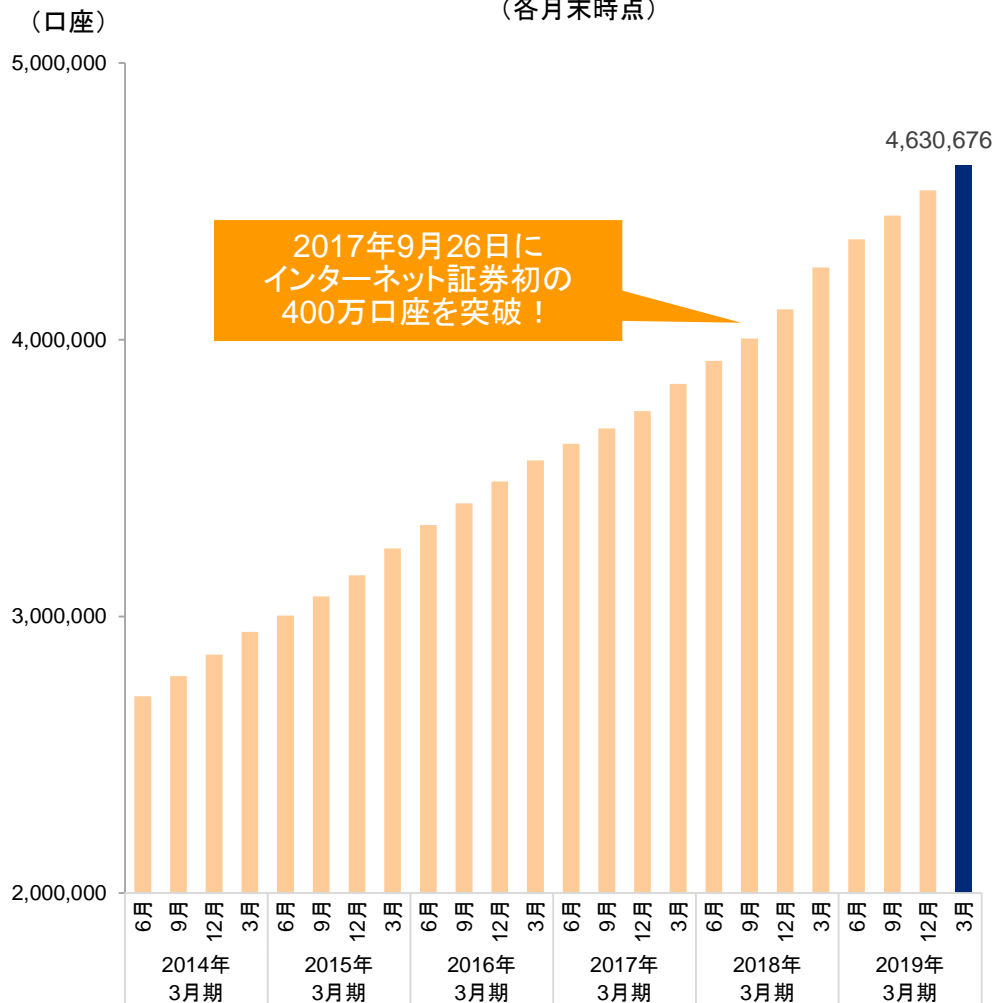
<主要インターネット証券5社の口座数>

(2019年3月末現在)



<口座数推移>

(各月末時点)

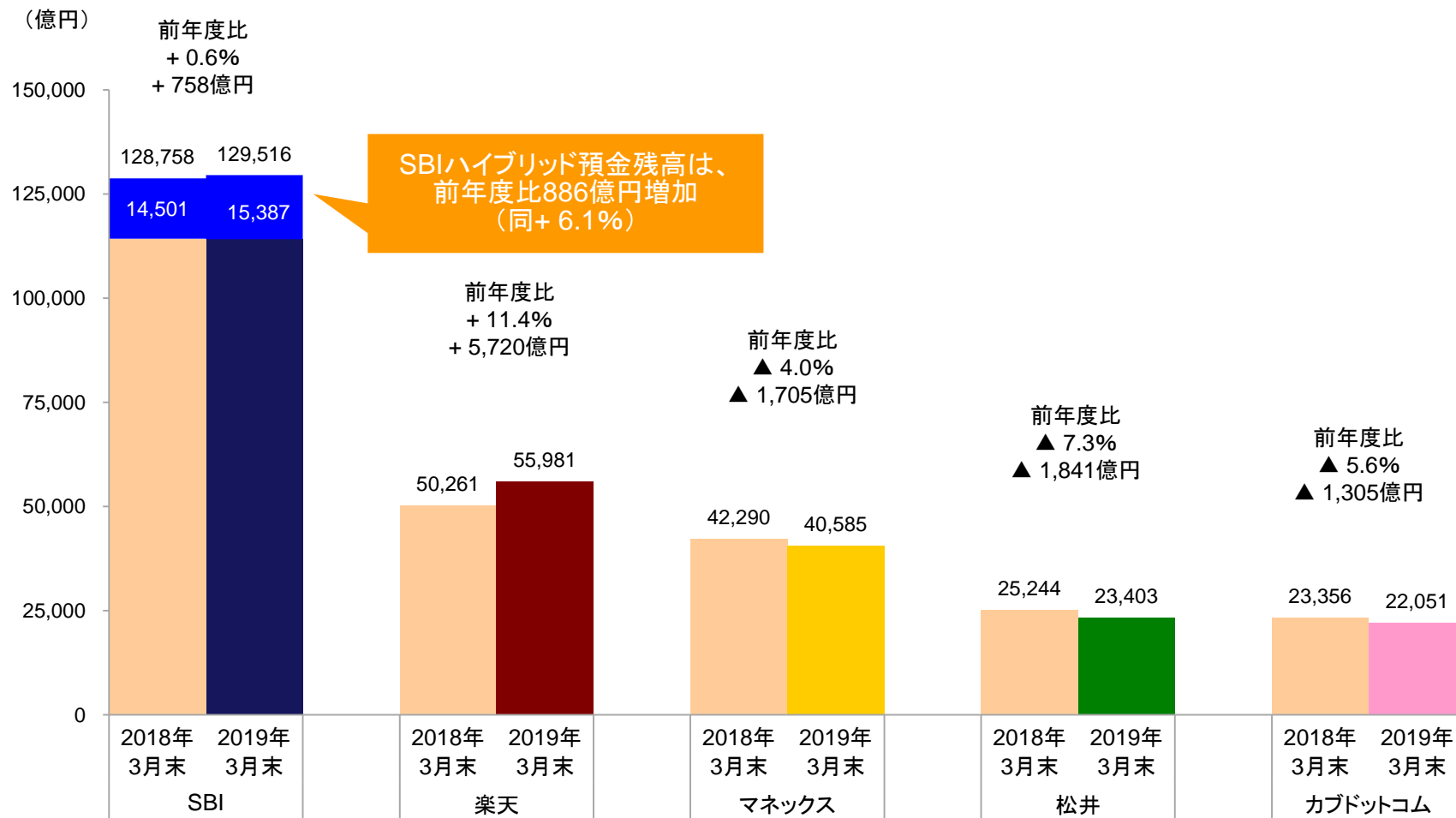


※ 楽天証券の数値は、2018年12月末の数値  
 主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、カブドットコム証券

<決算概況>

# 主要インターネット証券の預り資産残高比較

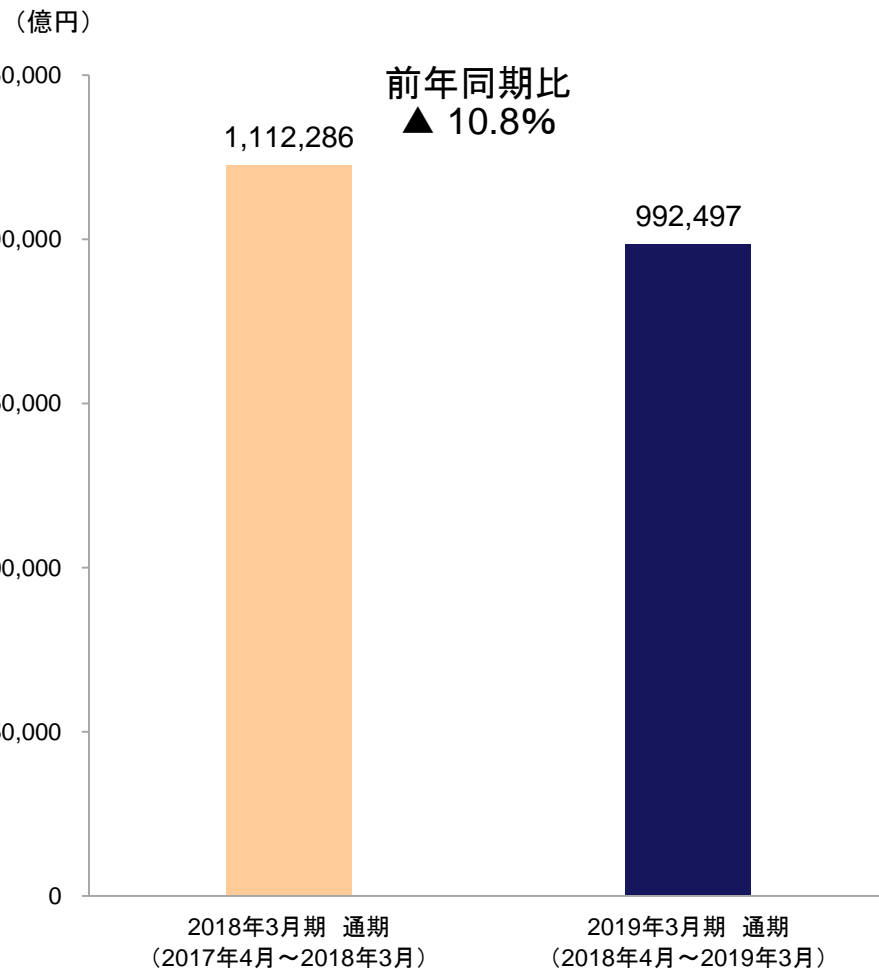
SBIハイブリッド預金残高を含めると、当社の2019年3月末預り資産残高は前年度比0.6%増の約12.9兆円。



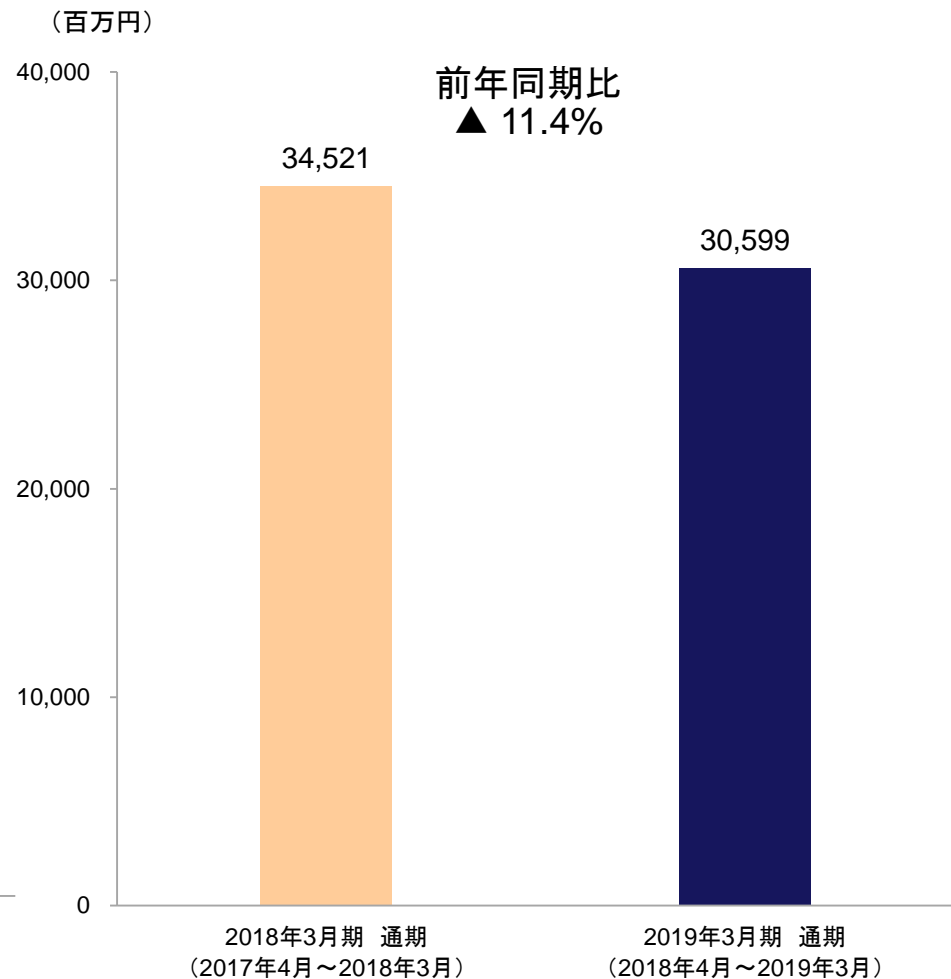
## &lt;決算概況&gt;

## 国内株式 委託売買代金と委託手数料の動向

## &lt;委託売買代金&gt;



## &lt;委託手数料&gt;



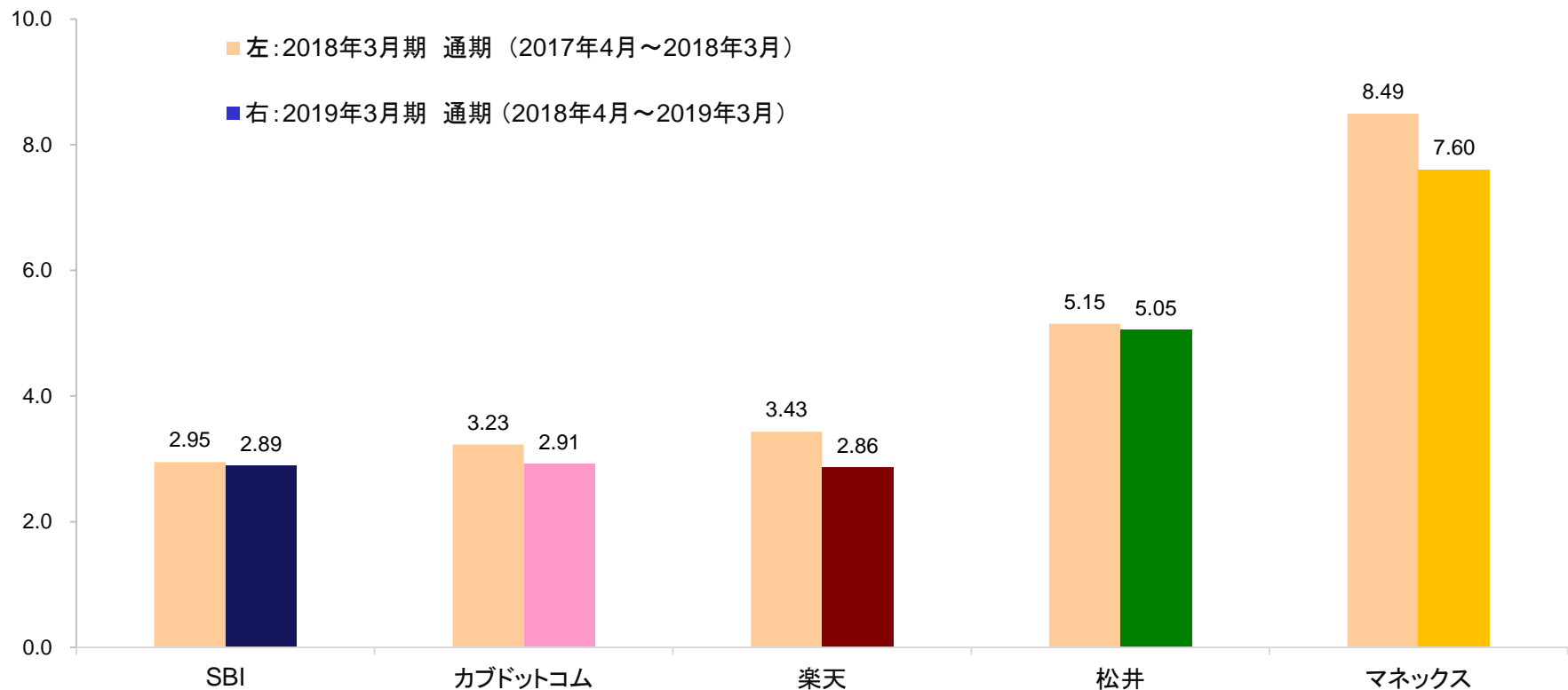


## &lt;決算概況&gt;

## 主要インターネット証券のベースス比較

(ベース)

(委託手数料÷委託売買代金)



主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、カブドットコム証券、マネックス証券、松井証券  
※ マネックスの数値は、マネックス証券の委託手数料の数値を使用

出所: 各社決算資料、月次開示資料等より当社作成  
委託手数料は決算短信より数値を使用  
SBI証券はインターネット部門のみの数値を使用

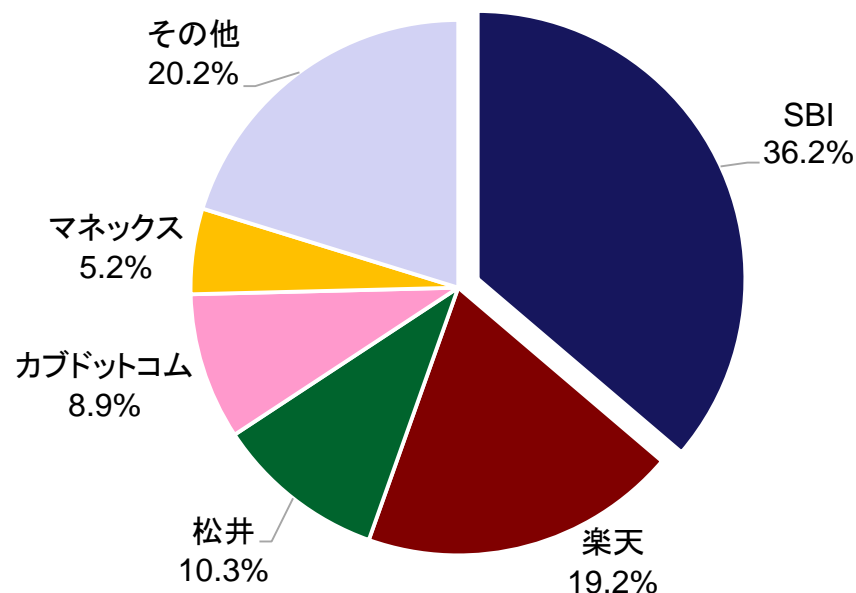
## &lt;決算概況&gt;

## 主要インターネット証券の国内株式 委託個人売買代金シェア

当社は引続き他社を大きく上回る高いシェアを維持し、36.2%のシェアを獲得。

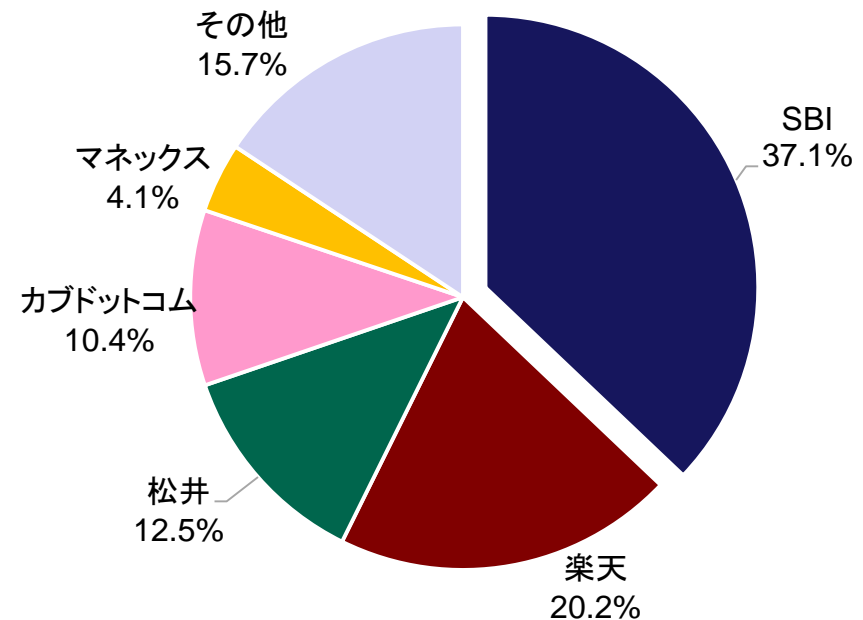
&lt;委託個人売買代金シェア(%)&gt;

2019年3月期 通期 (2018年4月～2019年3月)



&lt;委託個人信用取引売買代金シェア(%)&gt;

2019年3月期 通期 (2018年4月～2019年3月)



各社委託個人(信用)売買代金 ÷ {株式委託個人(信用)売買代金(二市場1,2部等) + ETF/REIT売買代金} にて算出  
出所: 東証統計資料、各社WEBサイトの公表資料より当社集計

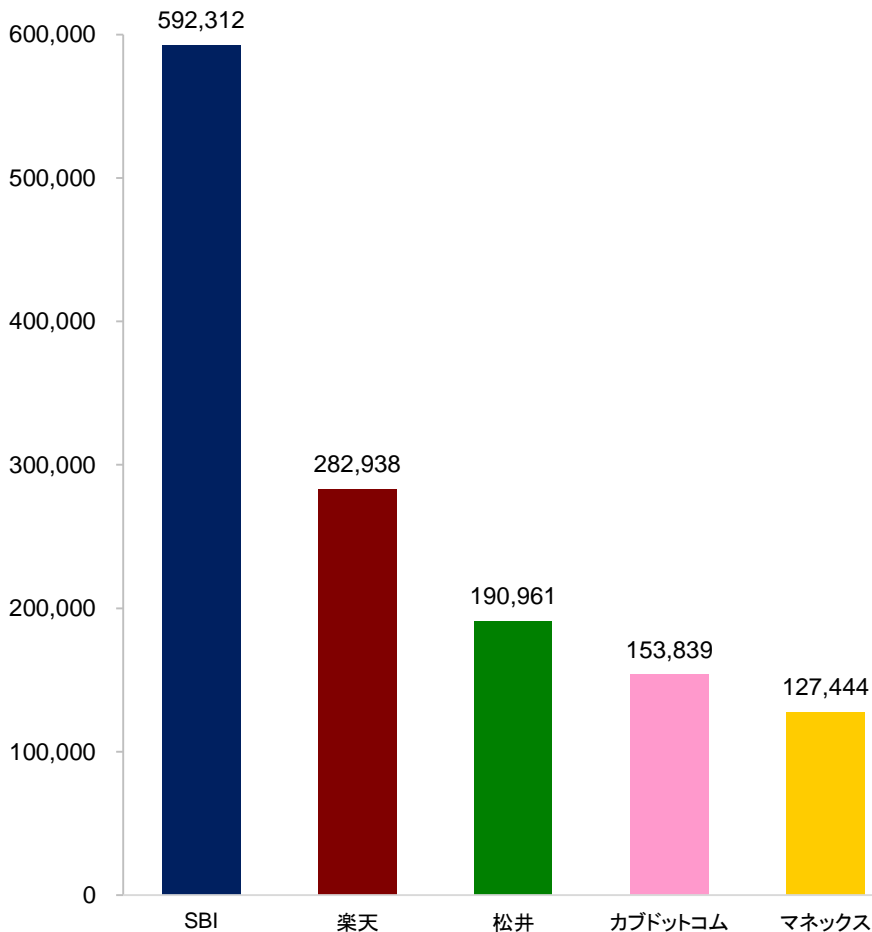
<決算概況>

主要インターネット証券の信用取引口座数比較

<主要インターネット証券5社の信用取引口座数>

(口座)

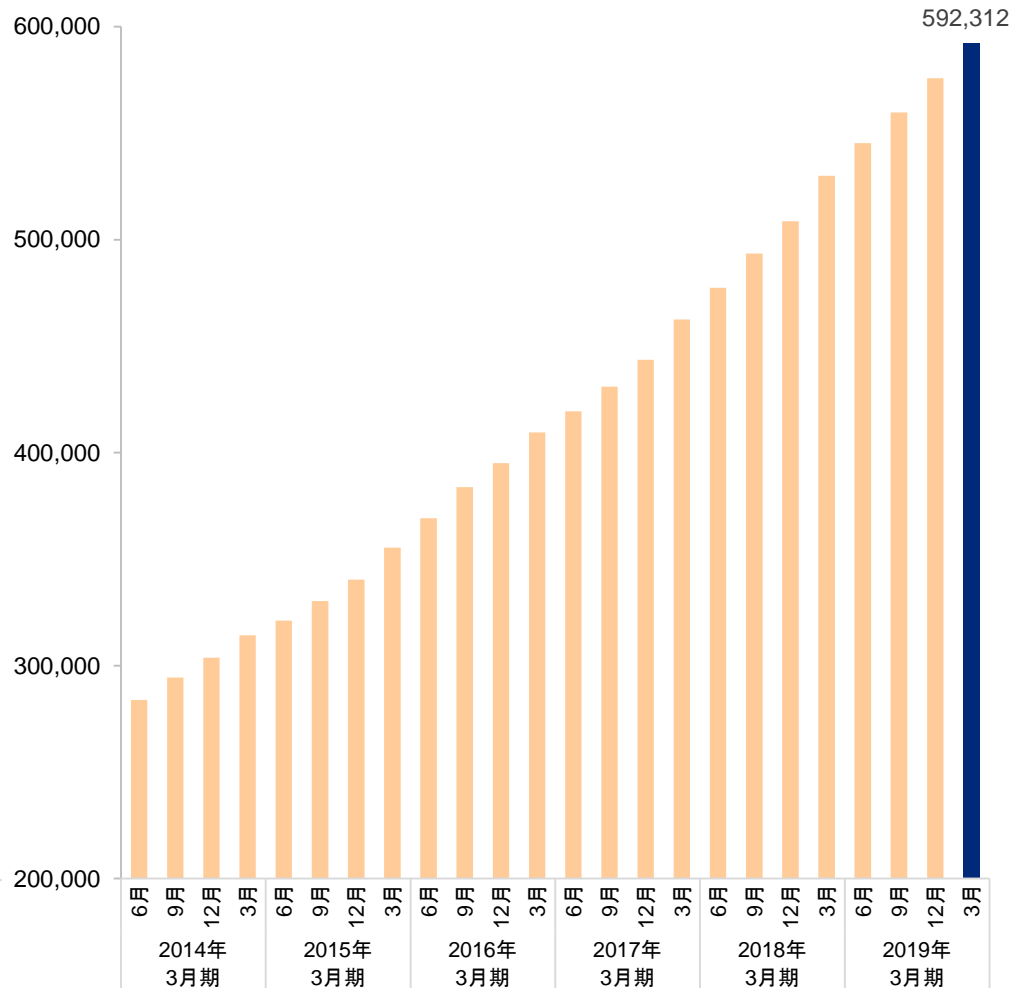
(2019年3月末現在)



<信用取引口座数推移>

(口座)

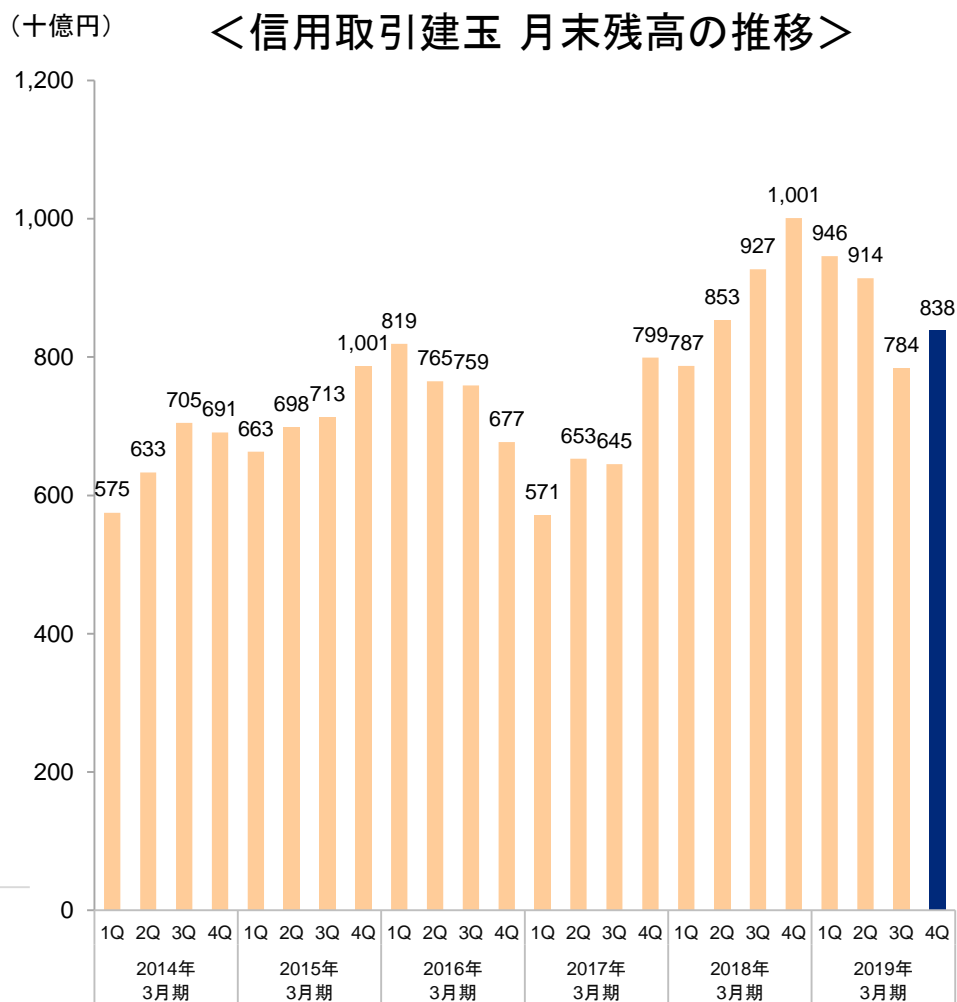
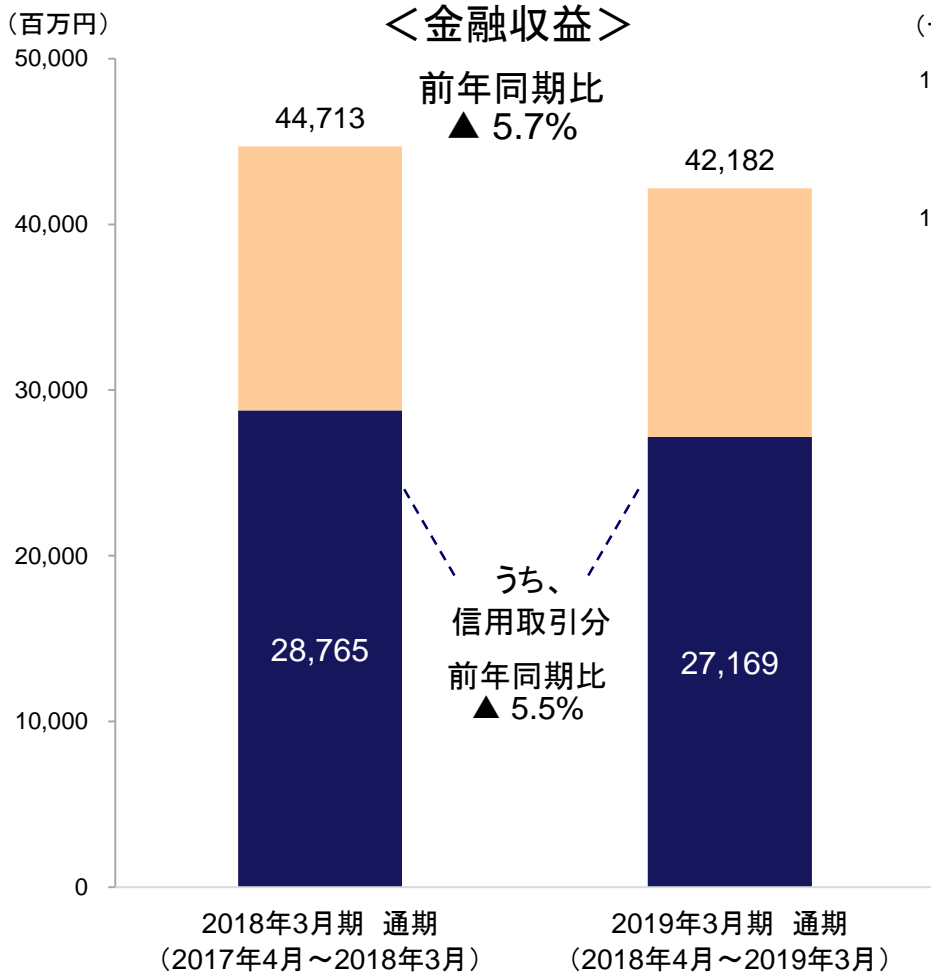
(各月末時点)



※ 楽天証券の数値は、2018年12月末の数値  
 主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、カブドットコム証券

<決算概況>

金融収益と信用取引建玉残高の推移

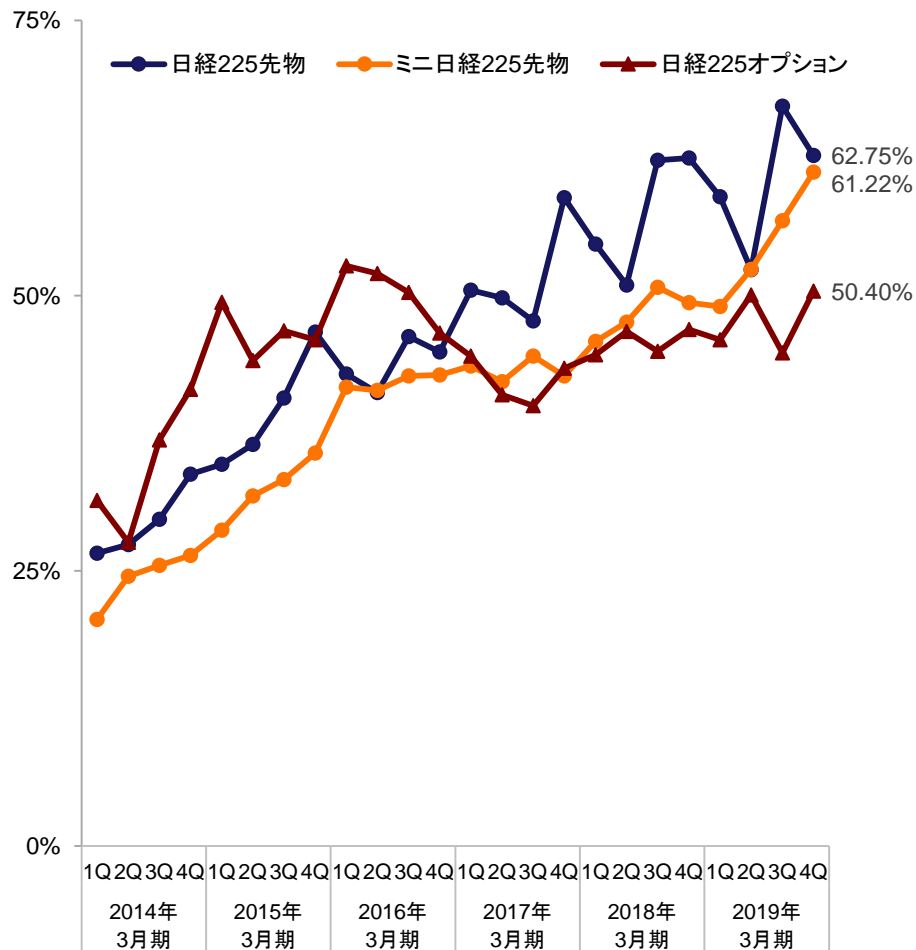


<決算概況>

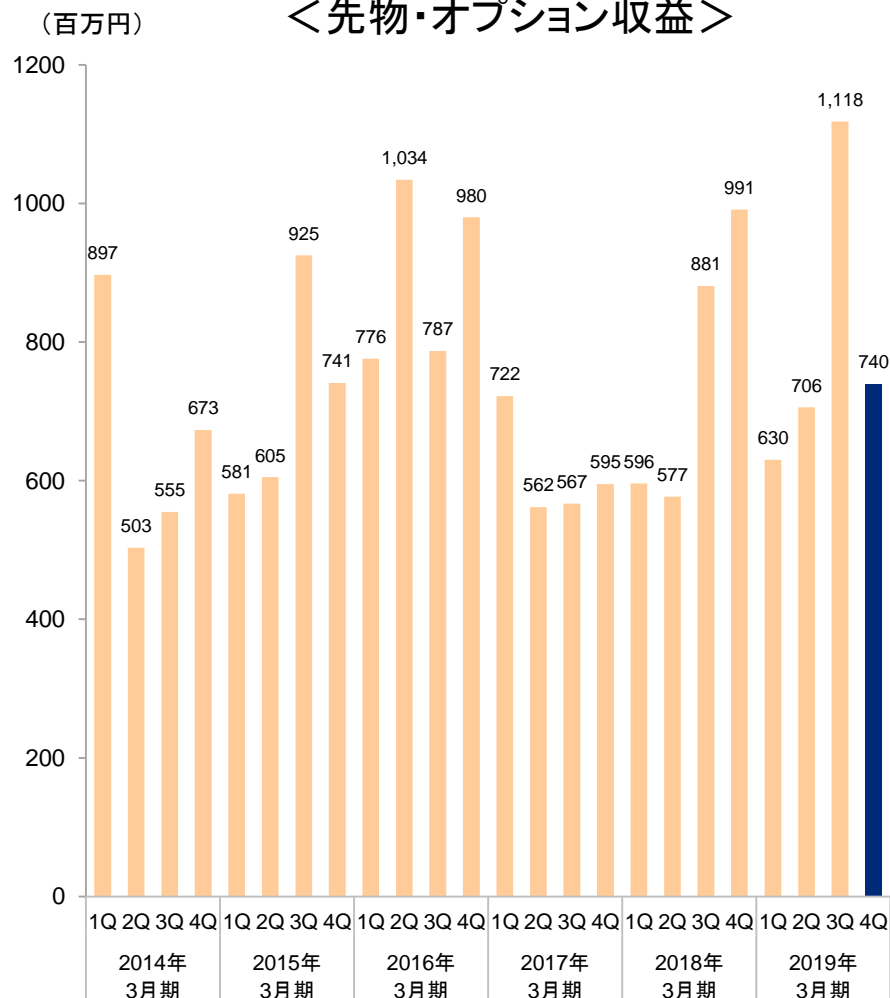
先物・オプション売買代金シェアと手数料の推移

先物・オプションの委託個人売買代金シェアは、引き続き高水準を維持。

<先物・オプション 委託個人シェア>



<先物・オプション収益>



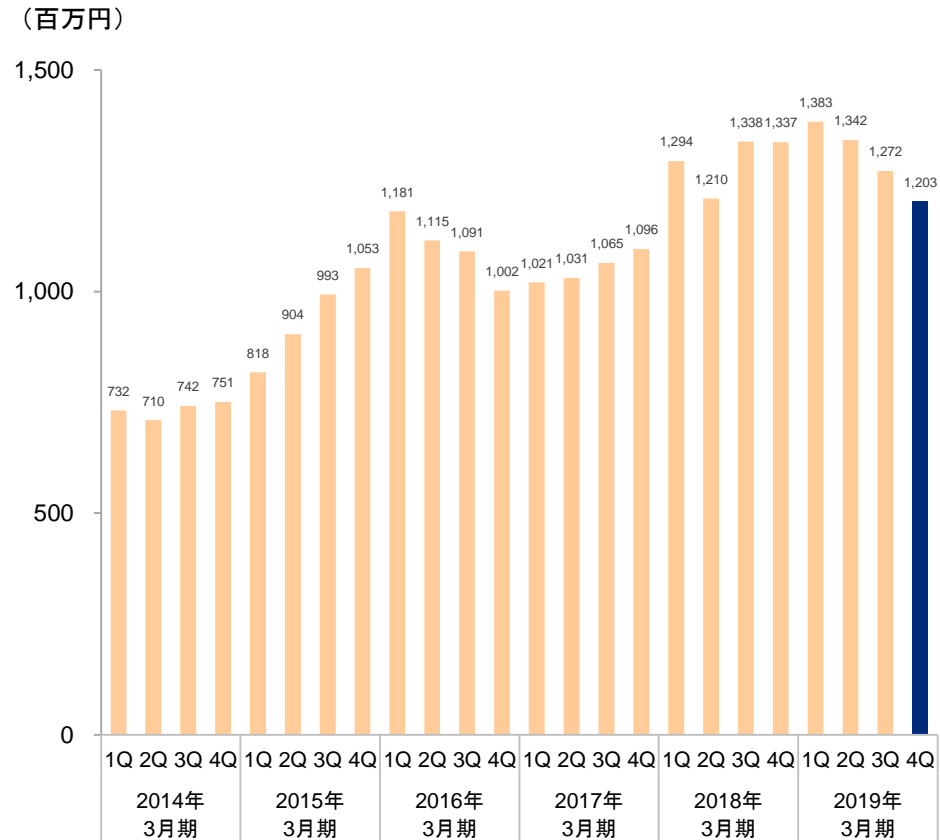
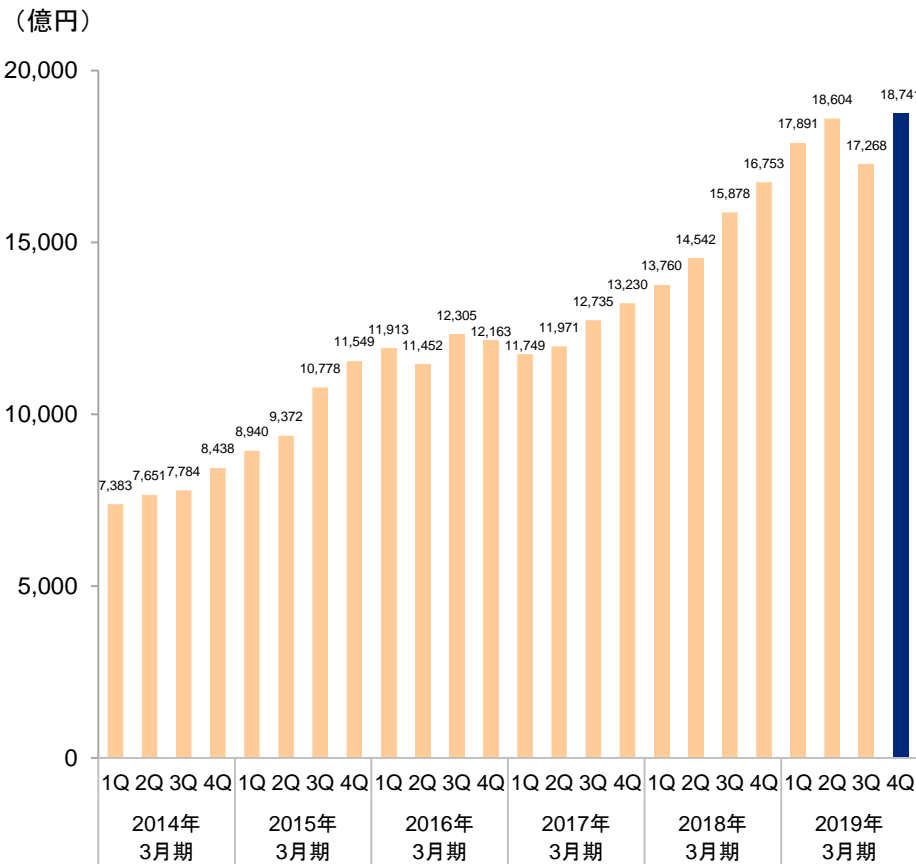
<決算概況>

投資信託残高と信託報酬の推移

投資信託残高の四半期末残高、信託報酬は高水準を維持。

<投資信託 四半期末残高>

<投資信託 信託報酬額>

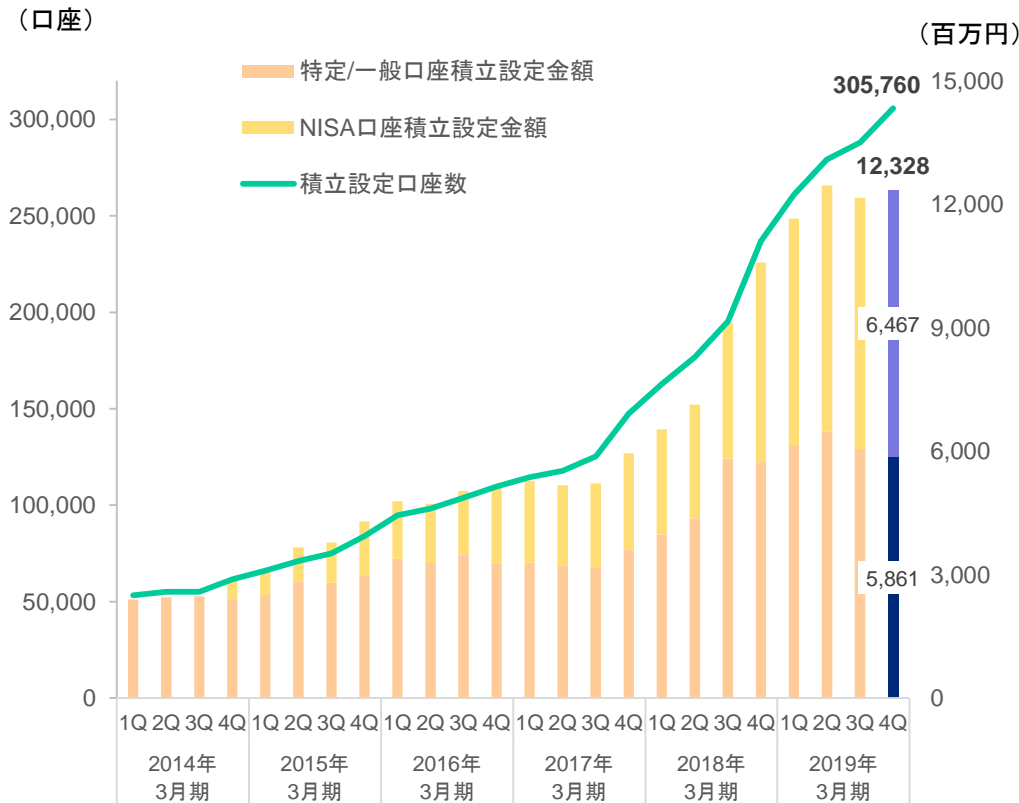


※上場投資信託、MMF、中期国債ファンドおよび対面口座分の預りを含む

<決算概況>

投資信託積立設定金額の推移と取扱商品状況

<投信積立金額の推移>



<売れ筋ファンド-買付金額上位銘柄>

No.	銘柄名
1	ひふみプラス
2	<購入・換金手数料なし> ニッセイ外国株式インデックスファンド
3	ニッセイ日経225インデックスファンド

<売れ筋ファンド-積立設定金額上位銘柄>

No.	銘柄名
1	ひふみプラス
2	<購入・換金手数料なし> ニッセイ外国株式インデックスファンド
3	eMAXIS Slim 先進国株式インデックス

※受渡ベース

<取扱本数>

取扱本数は2019年4月1日現在:2,710本

うち、ノーロード投信取扱本数は1,363本

※取扱本数は、主要インターネット証券No.1

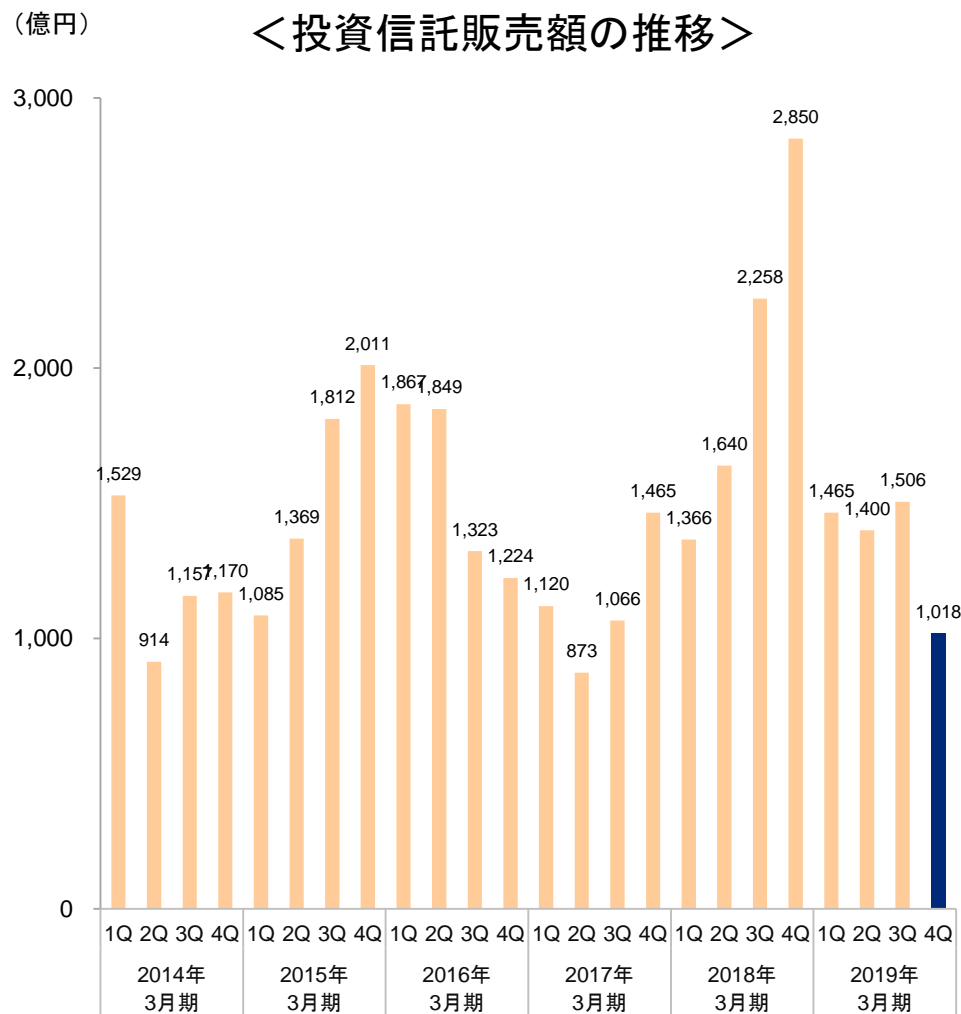
※MMFおよび中期国債ファンドを含む

※主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、カブドットコム証券

<決算概況>

投資信託販売額の推移

<投資信託販売額の推移>

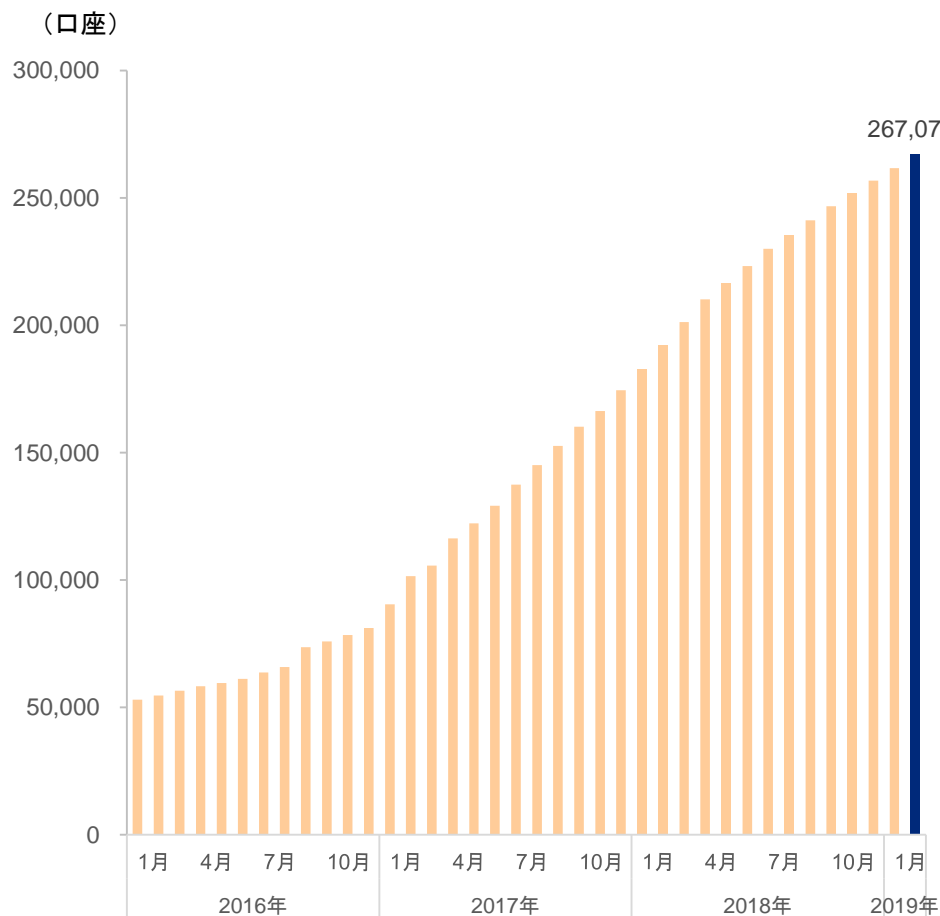


※MMFおよび中期国債ファンドを含む

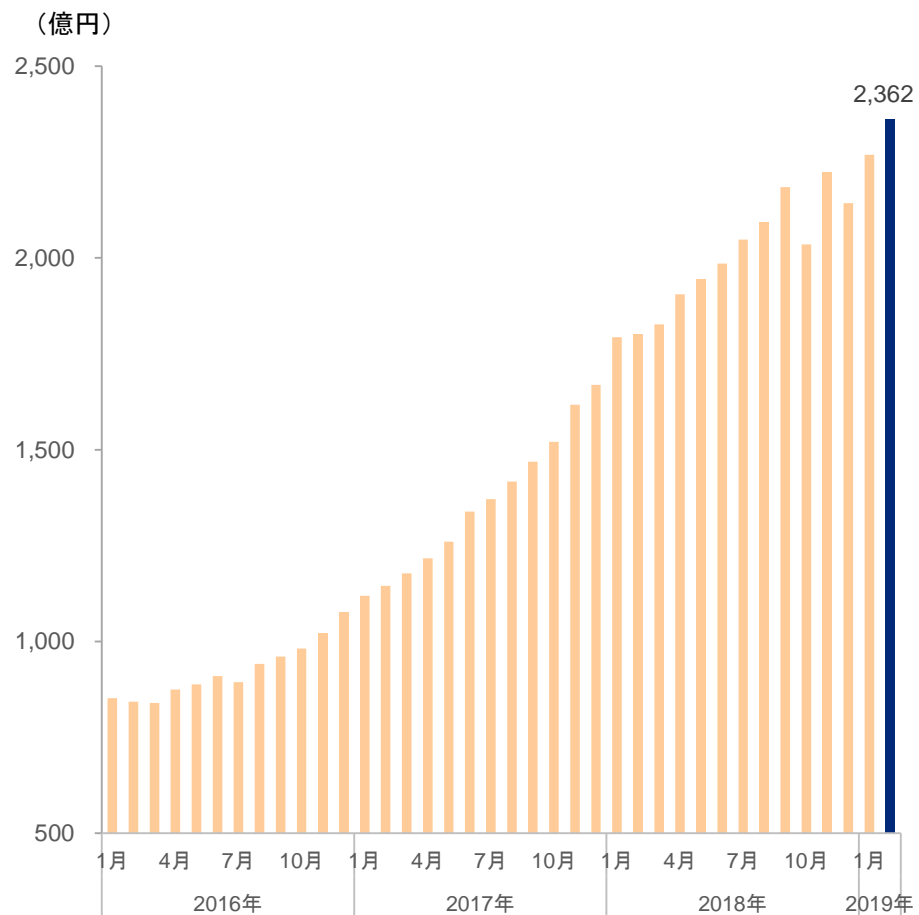


# iDeCo口座数・残高の推移

<iDeCo口座数の推移>



<iDeCo残高の推移>

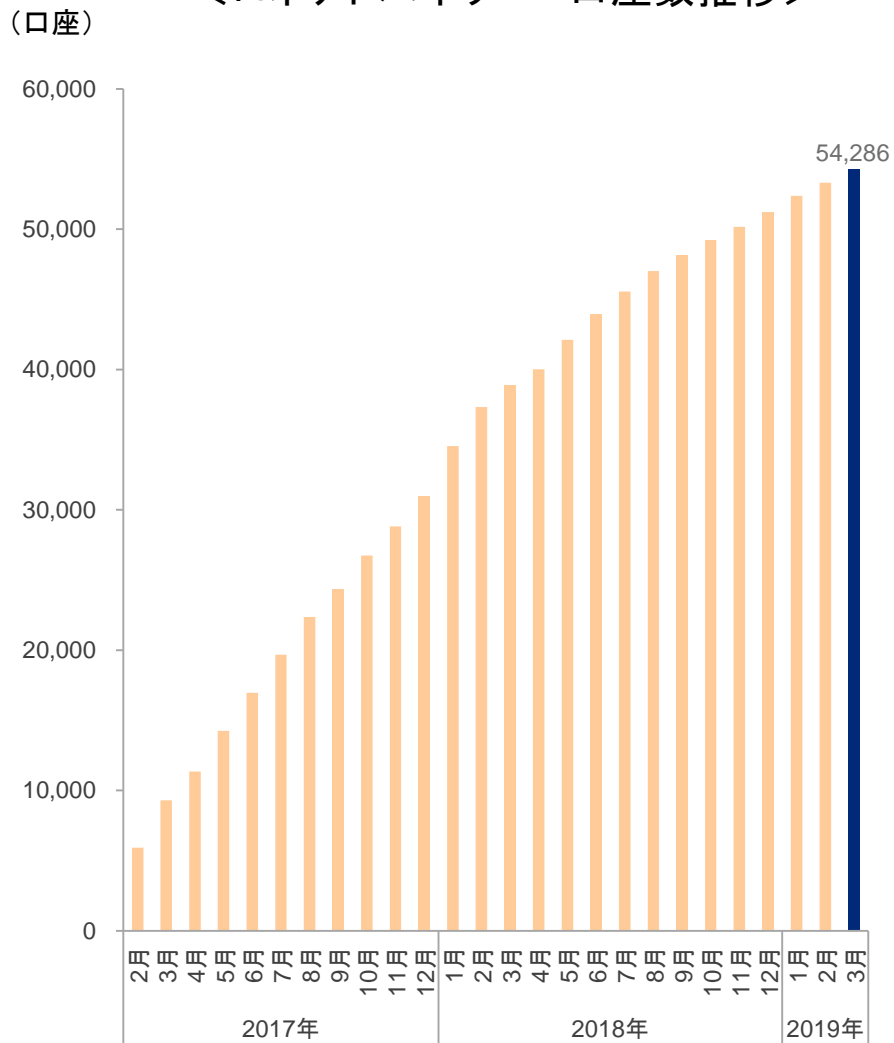


※加入者・運用指図者の合計  
 ※出所：国民年金基金連合会

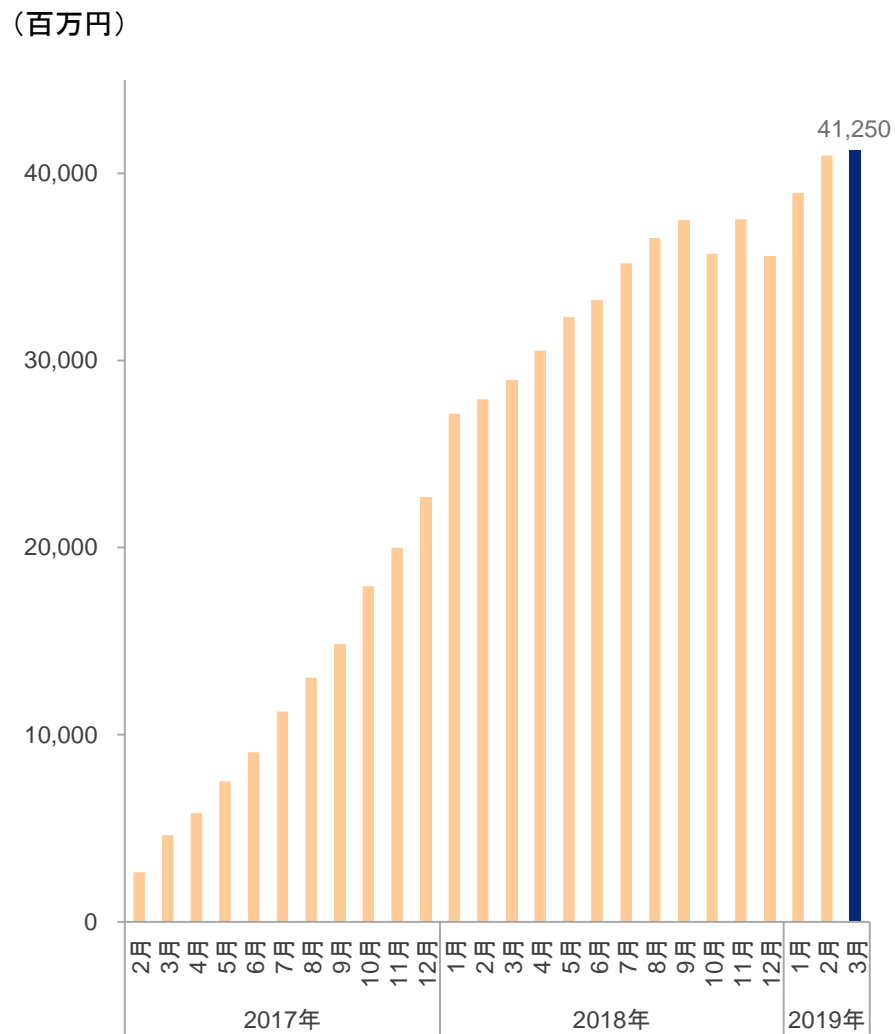
※残高は当社集計

# ロボアドバイザー「WealthNavi for SBI証券」の状況

＜ロボアドバイザー 口座数推移＞



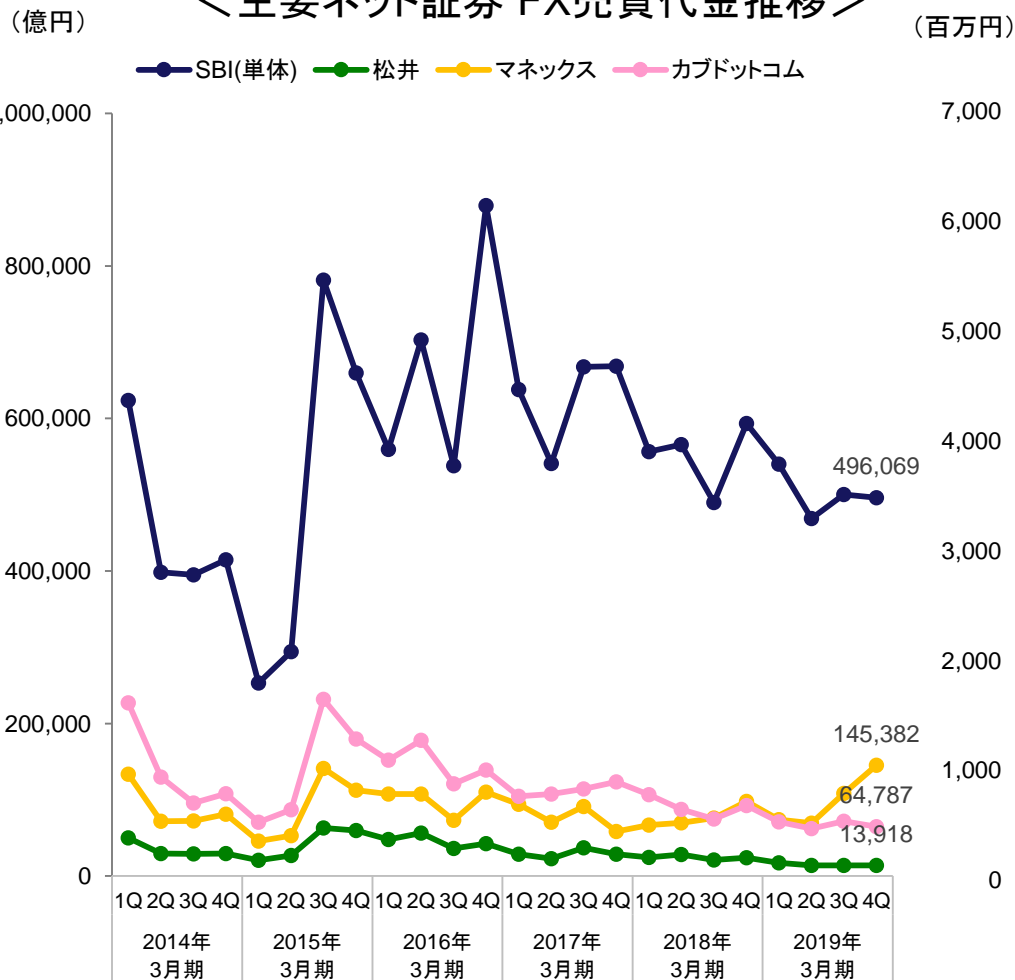
＜ロボアドバイザー 残高推移＞



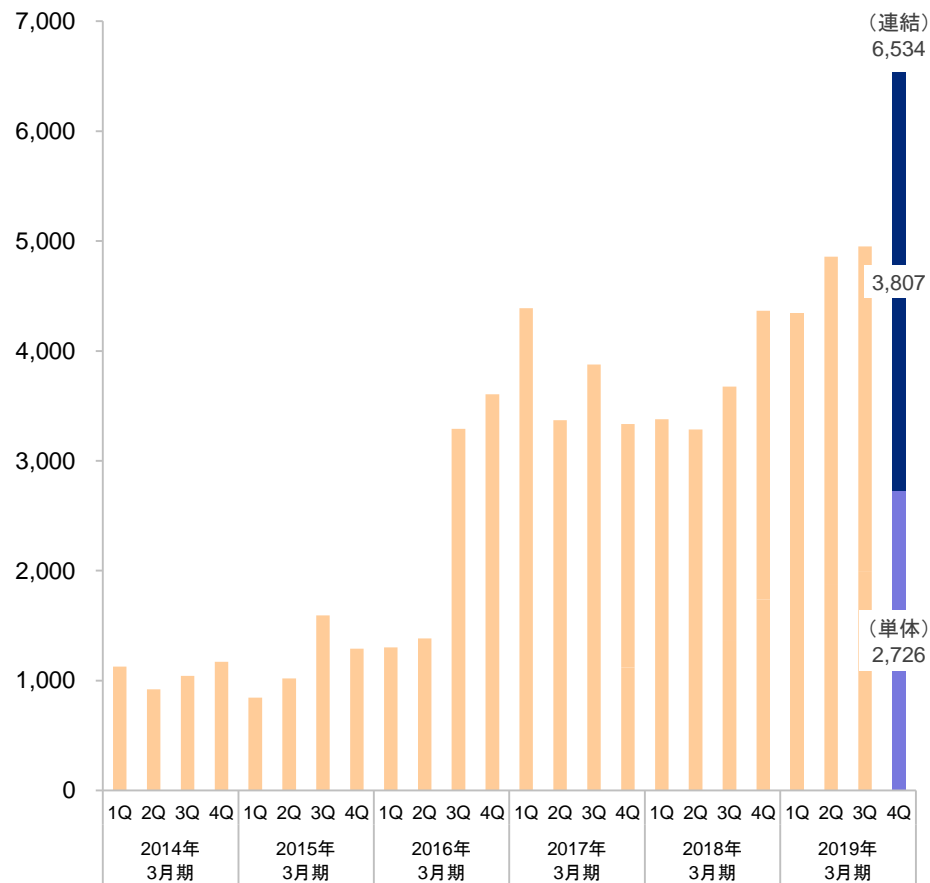
<決算概況>

FX売買代金と収益推移

<主要ネット証券 FX売買代金推移>



<FX収益推移>



※ データを開示しているマネックス証券、松井証券、カブドットコム証券およびSBI証券の4社の数値を比較

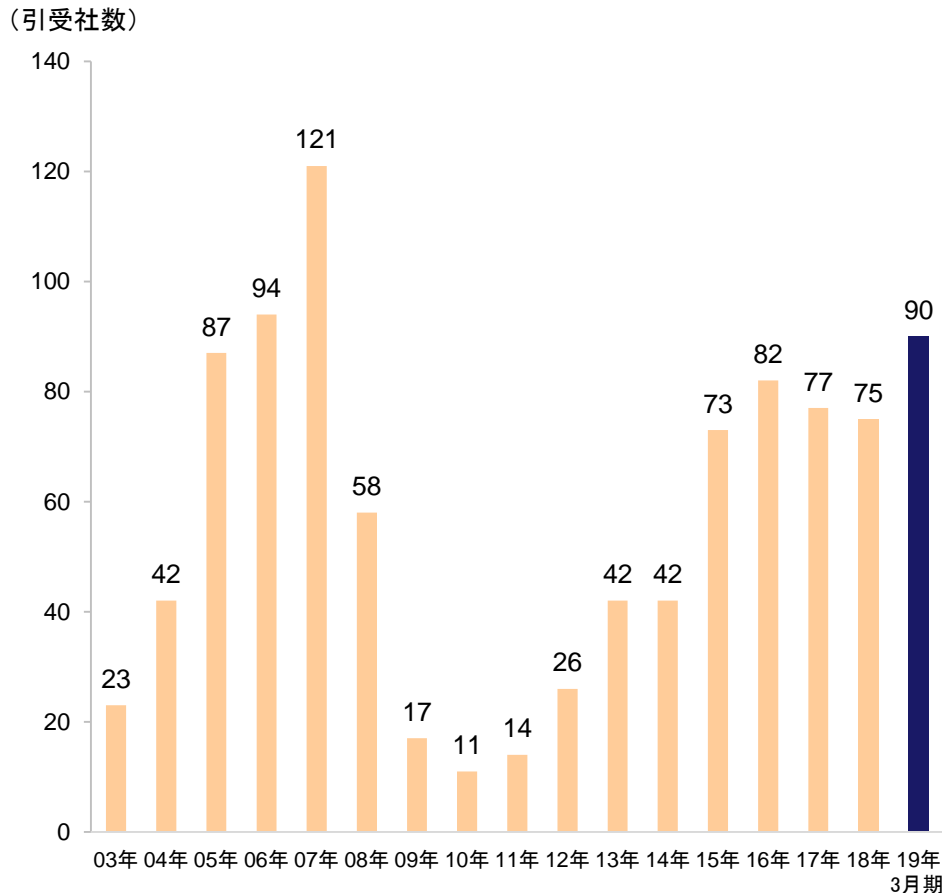
出所：各社ホームページ等公表資料より当社にて集計

<決算概況>

# 新規公開株式(IPO)の引受実績

2018年4月から2019年3月までの上場会社数は95社。同期間のSBI証券引受関与率は94.7%と引き続き業界トップ。

<IPO引受実績>



※業者委託は含まない、上場日ベース、委託販売・不動産投信を除く  
 ※TOKYO PRO Marketを除く数値にて集計

<IPO引受社数ランキング(2018年4月~2019年3月)>

社名	件数	関与率(%)
SBI	90	94.7%
みずほ	69	72.6%
SMBC日興	66	69.5%
岡三	45	47.4%
マネックス	42	44.2%
エース	42	44.2%
野村	38	40.0%
いちよし	38	40.0%
岩井コスモ	35	36.8%
大和	34	35.8%

※集計対象は新規上場企業の国内引受分で、追加売出分と海外は含まず  
 ※引受関与とは、自社の主幹事案件含む引受銘柄数  
 ※各社発表資料より当社にて集計

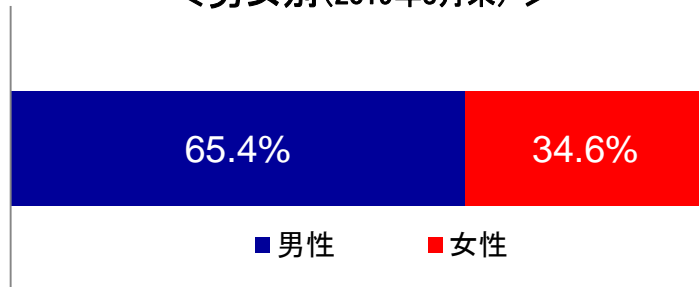
<決算概況>  
NISA口座の状況

<NISA口座数と稼働率(2019年3月末累計)>

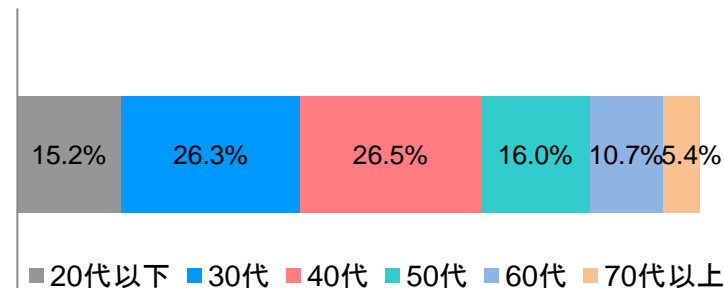
口座数	140.3万口座
稼働口座数	42.1万口座
稼働率	30.0%

※稼働口座数・稼働率は2019年1月以降累計

<男女別(2019年3月末)>

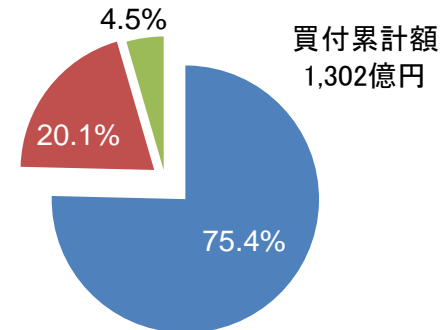


<年代別(2019年3月末)>



※上記数値はNISA、つみたてNISA、ジュニアNISA口座の合算

<買付商品の内訳(2019年1月~2019年3月累計)>



■国内株式 ■投資信託 ■外国株式

<国内株式買付金額上位銘柄(2019年1月~2019年3月累計)>

No.	銘柄名(銘柄コード)
1	オリックス(8591)
2	日産自動車(7201)
3	みずほフィナンシャルグループ(8411)
4	ソフトバンク(9434)
5	日本たばこ産業(2914)
6	イオン(8267)
7	KDDI(9433)
8	サンバイオ(4592)
9	アンジェス(4563)
10	キャノン(7751)

＜決算概況＞

## 2019年3月期 上半期の主な取り組み

実施時期	取組み内容
2018年 4～6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 国内株式現物ダークプール取引「SBBO-X」サービスの提供を開始(4月)</li> <li>• 株式会社京葉銀行との新入金サービス「京葉銀行 リアルタイム入金」の提供を開始(4月)</li> <li>• 「証券コンソーシアム」を35社と共同で設立(4月)</li> <li>• 少額テーマ投資サービスを刷新し「テーマキラー！」と改称(4月)</li> <li>• 先物・オプション取引におけるAPIの提供を開始(5月)</li> <li>• 米国株式(ADRを含む)及び米国ETFを対象とした「米国テーマ・キーワード検索サービス」を開始(6月)</li> </ul>
2018年 7～9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「証券コンソーシアム」においてワーキンググループを設立(8月)</li> <li>• 「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」をインターネット証券4社共同で公表(8月)</li> <li>• 株式会社福井銀行との入金サービス「福井銀行 リアルタイム入金」の提供を開始(8月)</li> <li>• 株式会社秋田銀行との入金サービス「秋田銀行 リアルタイム入金」の提供を開始(8月)</li> <li>• HDI-Japan「問合せ窓口格付け」「WEBサポート格付け」において国内最高評価の「三つ星」を獲得(9月)</li> </ul>

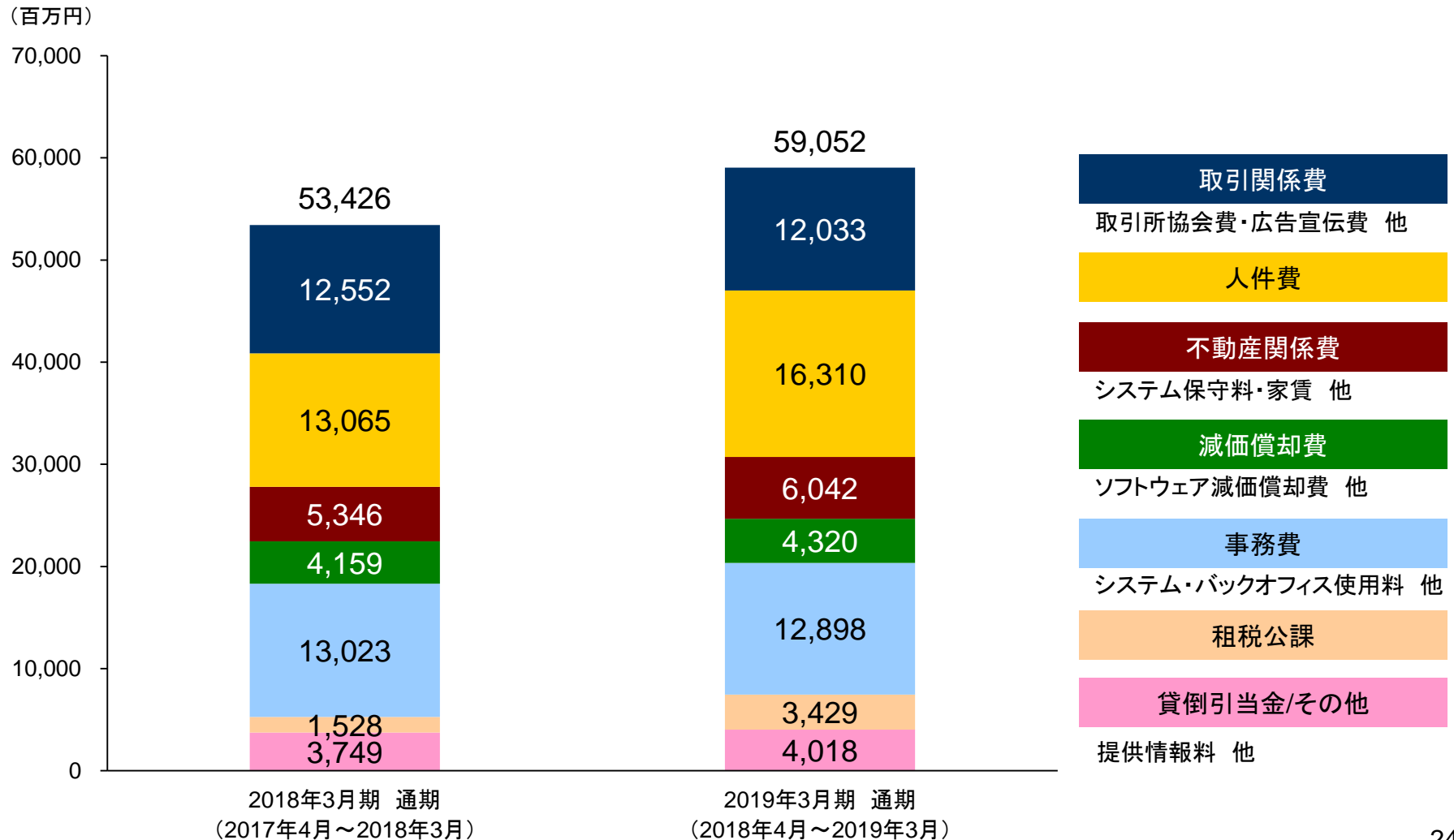
<決算概況>

## 2019年3月期 下半期の主な取り組み

実施時期	取り組み内容
2018年 10～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 銀の取扱いを開始(10月)</li> <li>• CCCマーケティング株式会社と資本業務提携契約締結、株式会社SBIネオモバイル証券準備会社を設立(10月)</li> <li>• iDeCo(個人型確定拠出年金)において、新プランの提供を開始(11月)</li> <li>• 公益財団法人日本電信電話ユーザ協会主催「第22回企業電話対応コンテスト」において、「理事長賞」を受賞(11月)</li> <li>• 株式会社北日本銀行との入金サービス「北日本銀行 リアルタイム入金」の提供を開始(12月)</li> <li>• 株式会社紀陽銀行との入金サービス「紀陽銀行 リアルタイム入金」の提供を開始(12月)</li> <li>• 株式会社仙台銀行との入金サービス「仙台銀行 リアルタイム入金」の提供を開始(12月)</li> </ul>
2019年 1～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「2019年 オリコン顧客満足度ランキングネット証券」において総合1位を獲得(1月)</li> <li>• 信金中央金庫と金融商品仲介スキームでの連携を開始(1月)</li> <li>• 「コメワラント」の取扱いを開始(1月)</li> <li>• 相続関連の情報を提供する相続特設サイトを開設(2月)</li> <li>• 株式会社三重銀行との入金サービス「三重銀行 リアルタイム入金」の提供を開始(2月)</li> <li>• 株式会社第三銀行との入金サービス「第三銀行 リアルタイム入金」の提供を開始(2月)</li> <li>• 株式会社筑邦銀行との入金サービス「筑邦銀行 リアルタイム入金」の提供を開始(3月)</li> <li>• SBI FXαの通貨ペアを追加し、合計28通貨ペアの取扱いを開始(3月)</li> <li>• 国内株式の注文方法において「OCO注文」、「IFD注文」、「IFDOCO注文」をリリースし、期間指定注文において「今週中」の項目を追加(3月)</li> <li>• 一般社団法人グリーンファイナンス推進機構が推進する「グリーンボンド発行促進プラットフォーム」へ「登録発行支援者」として登録(3月)</li> </ul>

<決算概況>

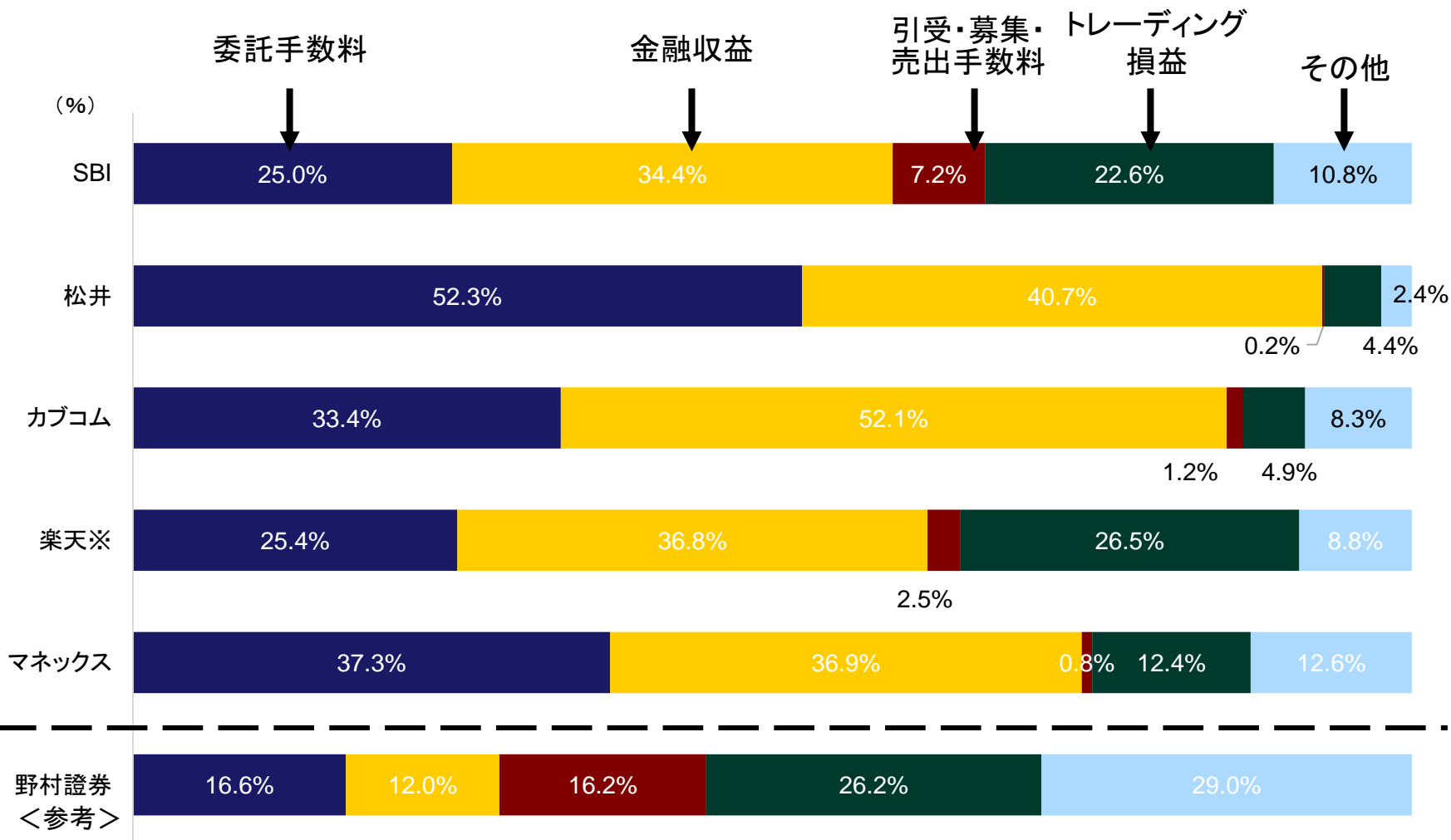
販売費・一般管理費の内訳





<決算概況>

主要インターネット証券各社 2019年3月期 通期営業収益構成比



出所: 各社WEBサイトの公表資料より当社にて集計

※ 2018年度より12月決算に変更しており、上記は2018年12月期と2019年12月期 第1四半期の合計数値を記載

### ＜手数料等及びリスク情報について＞

SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります（信用取引、先物・オプション取引、外国為替保証金取引、取引所CFD（くりっく株365）では差し入れた保証金・証拠金（元本）を上回る損失が生じるおそれがあります）。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

### ＜金融商品取引法に係る表示＞

商号等 株式会社SBI証券 金融商品取引業者

登録番号 関東財務局長（金商）第44号

加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会